

第27回 金沢自転車ネットワーク協議会 議事概要

日 時：令和5年9月4日（月）13:30～14:45

場 所：国土交通省 金沢河川国道事務所 2階会議室

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 規約の改正
4. 議事
 - (1) 今年度の取組予定
 - (2) 金沢市内の自転車ネットワーク路線の見直し方針
 - (3) デンマーク式自転車教室の開催報告
 - (4) 第13回金沢自転車ネットワーク形成に向けた勉強会
 - (5) 今後の予定
5. 閉会

議事要旨

■今年度の取組予定

◎自転車通行空間の整備が難しい区間は、地域住民にデータに基づく説明を行い、合意を得ながら進めていくべき。

■金沢市内の自転車ネットワーク路線の見直し方針

◎サッカースタジアムの建設により、新たに利用が見込まれる路線についても検討が必要。

【第27回金沢自転車ネットワーク協議会の様子】



委員名簿

分類	所属・氏名	出欠
学識者	公立小松大学 教授 高山 純一	出席
	北陸大学 名誉教授 三国 千秋	出席
	地球の友・金沢 三国 成子 (内閣府 第9・10・11次中央交通安全対策会議専門委員)	出席
警察	石川県警察本部 交通部 交通企画課長 西村 和市	代理出席 課長補佐 窪 美希
	石川県警察本部 交通部 交通規制課長 伊藤 悦隆	代理出席 課長補佐 宮下 真希
	金沢中警察署 交通官 西村 泉	出席
	金沢東警察署 地域交通官 濱本 宏一	出席
	金沢西警察署 地域交通官 和泉 哲朗	出席
行政関係	国土交通省 金沢河川国道事務所 道路管理第二課長 小林 智子	出席
	石川県 土木部 道路整備課長 小寺 基	代理出席 課長補佐 前田 崇志
	石川県 土木部 都市計画課長 竹内 憲一	代理出席 課長補佐 川畑 勝嗣
	石川県 県央土木総合事務所 維持管理課長 竹田 朗	出席
	金沢市 都市政策局 交通政策課長 近藤 陽介	代理出席 担当課長 中山 哲也
	金沢市 土木局 道路管理課長 木谷 哲	代理出席 担当課長 土田 昌伯
オブザーバー	野々市市 建設部 土木課長 道下 和宏	出席
	白山市 建設部 土木課長 中川 浩一	出席
	津幡町 産業建設部 都市建設課長 本多 克則	欠席
	内灘町 都市整備部 都市建設課 渡辺 崇	欠席

※ 敬称略

議 事 概 要

○各委員、●事務局

■開会

●事務局（金沢河川国道事務所計画課 水野課長）

定刻となりましたので、ただいまより第27回金沢自転車ネットワーク協議会を開催いたします。本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

私は、事務局で司会を務めます、国土交通省金沢河川国道事務所計画課の水野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、高山会長よりご挨拶をお願い致します。

■会長挨拶

○公立小松大学教授 高山会長

これだけ暑いと自転車に少し乗っただけで汗だくになってしまいますが、自転車愛好家の方々はこの暑さの中でも自転車を利用されているのだと思います。

今年4月にしまなみ海道を自転車で走ってきました。本当に大変でしたが、ルートが整備されており、良い道路だと感じました。ぜひ石川県内の自転車通行空間も整備され、誰もが安心して走れるようになると良いと思います。特に自転車の交通量が多い金沢市内については、整備率5割を目指して頑張ってもらいたいと思います。この協議会も設立から15年ほど経っており、より一層頑張ってもらえれば幸いです。

■議事

（1）今年度の取組予定

○地球の友・金沢 三国 成子委員

5月のデンマーク式自転車教室の実施後に、自転車協会を通して次回の自転車教室の開催予定と申込方法について問い合わせがありました。カーフリーデーでの自転車教室は、どのように案内が出ていますか。

●事務局（金沢市都市政策局交通政策課 谷津主査）

金沢市では、10月8日（日）にカーフリーデーを開催予定であり、その中で未就学児向けの自転車教室を実施します。今後配布予定のチラシから申し込むことができるほか、金沢市の公式SNS等でも周知する予定です。

○北陸大学名誉教授 三国 千秋委員

金沢の自転車の取組は5年前、10年前に比べ、良い方向に進んでいると感じました。特に県央土木総合事務所は、自転車通行空間整備を地元とよく調整しながら複数の路線を同

時に進められています。特に、香林坊交差点から兼六園下交差点までは整備が難しい区間かと思いますが、無理に整備を進めずに、地域住民にデータに基づく説明を行い、合意を得ながら進めていくべきです。

金沢市の実績は、自転車通行空間整備により、クルマがスピードをダウンしたのが大きな成果だと思います。東京では、ナビラインを整備してもクルマのスピードが下がらず、自転車は危なくて車道を走れないという状況だと聞きます。

以前、街頭指導マニュアルにビジョンゼロについて書きましたが、スウェーデンのヨーテボリでも交通事故を3分の1に減らそうという動きがあり、特にクルマに関連する事故は減ったようです。歩車分離の考え方や政策の結果だと思います。

また、今年の11月に仙台で自転車利用環境向上会議があり、私は交通安全教育に関する分科会を担当しています。今年は通学路と生活道路の安全に力を入れており、クルマのスピードなどをテーマにディスカッションしていく予定です。

(2) 金沢市内の自転車ネットワーク路線の見直し方針

○地球の友・金沢 三国 成子委員

基準①について、まちなりのGPSデータを利用するのであれば、比較的観光客が多く利用している路線を選定することになるのではないかと思います。基準②について、金沢市では新しいサッカースタジアムができる予定ですが、対象施設として検討されていますか。新潟では、サッカースタジアムから多くの自転車が住宅街に入る現象が見られるようで、そのような利用が見込まれる路線についても検討をする必要があると思います。

●事務局（金沢河川国道事務所計画課 水野課長）

まちなりのGPSデータは、平成29年に作成した時とは違う、新たなデータとしての活用を考えています。利用者の属性やポートの配置なども考慮しながら、データをよく見て詳細の基準を決めていきます。

○北陸大学名誉教授 三国 千秋委員

自転車事故の安全対策をした路線では、事故が明らかに減っており、その周辺も事故が少ないというデータが出ているため、整備後のフォローアップも重要です。

(3) デンマーク式自転車教室の開催報告

○北陸大学名誉教授 三国 千秋委員

5月の自転車教室の講習会で、議員の方から京都の交通公園を見たいという声がありました。国関係の方と自転車の話をすると、交通公園の話題もあるそうです。金沢市にも交通公園がありますが、狭くて古いという現状から、新しくしようという話も出ていました。石川県では、金沢市の北部に消防学校の整備が予定されており、交通公園を併設することで、

教育施設としても多目的に利用できるのではないかと思います。

京都市は消防署が交通公園に隣接しており、前半は消防署を見て、後半は自転車教室というプログラムで幼稚園や保育所の児童が多数来ており、非常に楽しんでいたのが印象的でした。消防車は子どもたちに人気があり、防災に関心を持ってもらう意味でも良いと思います。

○公立小松大学教授 高山会長

消防学校は石川県の事業であり、交通公園の話は出ていないが、訓練施設や防災倉庫を整備する予定かと思えます。

金沢市の交通公園は拡張の予定はないですか。

●事務局（金沢市都市政策局交通政策課 谷津主査）

周辺が住宅街となっており、拡張は難しい状況です。

●事務局（金沢市都市政策局交通政策課 中山担当課長）

近年、自転車走行指導帯の整備などをするなど、リニューアルは実施しています。

○地球の友・金沢 三国 成子委員

リニューアルはされていますが、小学生向けの自転車教室では矢羽根などに対する説明が全くなく、残念に思いました。同じ市の事業であるため、関係者とコミュニケーションを取れたら良いと思います。

今後は自転車の取締も厳しくなっていくと思われませんが、子どもの頃から厳しくしすぎで自転車嫌いになっては困るため、まずは楽しく乗る技術を身に付ける必要があると思います。年齢に応じた教育が当たり前であるという保護者の意識も教育が必要であり、そのような施設を希望しています。

○北陸大学名誉教授 三国 千秋委員

先日、4年ぶりに町内の夏祭りがあり、子どもが消防車に乗って写真が撮れるイベントをしました。消防分団の団長によると、子どもが来るのも嬉しいが、保護者に消防分団のアピールをして分団に入ってもらいたい狙いもあると聞きました。自転車についても、子どもと保護者にセットでアピールすることが大事だと考えます。

本会議は、国、県、市、警察と関係者が集まっているため、皆で交通公園のことを考えていければ理想的です。

○公立小松大学教授 高山会長

他市町に交通公園はありますか。

○野々市市建設部 道下土木課長

野々市市にもあります。

○北陸大学名誉教授 三国 千秋委員

北九州市の交通公園は大きく、福岡市や山口県など市外からもバスで来ています。石川県で新設される消防学校も大きいと思われるため、交通公園を併設しても良いと思います。神田の交通公園は駐車場が少なく、アクセス面でも不便に感じます。

(4) 第13回金沢自転車ネットワーク形成に向けた勉強会

○地球の友・金沢 三国 成子委員

高山先生は公共交通と自転車についてどのような取組をされてきているのですか。

○公立小松大学教授 高山会長

一般的に自転車は走行距離がある程度制限される交通手段だと思います。移動距離に応じて、徒歩、バスあるいはタクシー、車などの交通手段が選択され、自転車と公共交通をセットで利用できる環境が整えば、地球に優しいと思います。日本では、自転車を電車に持ち込む際にカバーを掛ける必要があり、通勤時間帯の持ち込みは他の乗客に対して迷惑になるなど、自転車と公共交通の親和性といった点では海外には劣る部分があります。今後、そのような規制面について考えていくことにより、公共交通と自転車の組み合わせが今後の移動手段として発展していくのではないかと思います。

○北陸大学名誉教授 三国 千秋委員

自転車の勉強会は全国的に類がなく、第4回では全国会議を金沢で初めて開催しており、地方から発展したものといえます。

すでに金沢は先進地であり、他事例に学ぶというよりも、自分たちで考えを練っていかねばならないように思います。

高山先生に公共交通と自転車というテーマで基調講演をしていただきたく、金沢市あるいは石川県全体の公共交通の話や、自転車からまちづくりへ話をつなげていくというのはいかがでしょうか。

○公立小松大学教授 高山会長

私は金沢自転車ネットワーク協議会の会長なので、勉強会という折角の機会に私が基調講演をするのは、もったいない感じがします。また、皆さんも意見を言いにくいのではないかと思います。

○地球の友・金沢 三国 成子委員

基調講演についてはまたご相談をさせていただきます。

(5) 今後の予定

○公立小松大学教授 高山会長

特にご意見がないため、スケジュールについてご了承いただいたものとします。

－以上－